

研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： 実世界光線場の文脈に整合した空間拡張現実

2. 個人研究者名

岩井 大輔（大阪大学大学院基礎工学研究科 准教授）

3. 事後評価結果

本研究では、空間拡張現実（プロジェクションマッピング:PM）における課題である①暗室のみでの利用、②遮断による影により利用可能なシーンが限定される、等を解決するために、数十台単位のプロジェクタを用いこれらを制御することで、屋内照明を再現し、影の発生を抑制する PM を実現した。また、空間解像度の向上も同時に達成した。

結果として、手の届く範囲の PM という新しいセッティングにおいて、独自の課題を見つけ出し、新しい視覚体験を提示できるシステムを構築した点が評価できる。また、本結果は、PM の実環境でのインタラクティブな利用を可能とする重要な研究成果と見なせる。

今後は、複数存在するプロジェクタの制御方法の最適化、社会実装での想定される状況を踏まえた研究の進展を期待する。